

行政改革推進プラン2018 取組項目《令和4年度の主な実績》

1. 市民満足と利便性のさらなる向上

| 年度 | 取組項目 | 概要 |
|--------|------------------------------|---|
| R4年度実績 | 1 行政の確かな推進 | ○「第4期大分市中心市街地活性化基本計画」、「大分市住生活基本計画」などの個別計画を策定するなど、各種施策を推進した。 |
| | 2 市民満足度のさらなる向上 | ○「令和4年度大分市民意識調査」を実施し、1,296件の回答が得られ、市政に対する満足度や重要度を把握するなど、今後の市政運営に活用した。(有効回収率37.4%) |
| | 3 市民ニーズに対応した質の高い行政サービスの提供 | ○商業施設、学校、企業等でマイナンバーカード出張申請サポートを193回実施し、12,099人をサポートした。また、令和5年3月17日まで大分オーバ内に開設したマイナンバーカードセンターにより、土日のマイナンバーカードの受け取り等に対応し、市民サービスの向上を図った。 |
| | 4 | ○死亡届に関連する窓口のご案内や相談に加え、各種届書に氏名等を記載の上、一括して交付するサービスにより、手続きの簡素化を図った。(死亡関係の支援件数 令和4年度1,932件) |

2. 多様な主体との連携による活力の創造

| 年度 | 取組項目 | 概要 |
|--------|-----------------------|--|
| R4年度実績 | 4 市民のまちづくりへの参加 | ○自治委員を対象に市内13地域にて市長との意見交換会を実施し、各地域での活動成果や具体的な課題等を共有し、市民と相互理解を深めることができた。 |
| | 5 連携によるひとづくり・地域づくり | ○地域の協力企業等を対象に、行方不明になった高齢者の早期発見を目的とする「大分あんしんみまもりネットワーク連絡会議」を開催し、ネットワークの強化等を図った。(参加者43名) |
| | 6 多様な主体との連携・協働 | ○九州電力(株)大分支店及び大分県信用組合とカーボンニュートラル等に係る包括連携協定を締結した。 |

3. 安定的な行財政基盤の強化

| 年度 | 取組項目 | 概要 |
|--------|--------------------------|---|
| R4年度実績 | 7 業務手法等の見直し | ○令和4年8月より、給食調理業務等の民間委託を現行の19校に加え、新たに1校に導入し計20校とした。 |
| | 8 公共施設等の総合的なマネジメントの推進 | ○鶴崎公民館集会室棟の増築工事、のつはる少年自然の家の中庭改修工事、関崎海星館の建物改修工事など、計画的な長寿命化改修工事等を行った。 |
| | 9 健全な財政運営の推進 | ○令和3年度決算に係る経常収支比率は、前年度より4.4ポイント改善し、公債費比率は0.2ポイント低下した。 |

4. 合理的・効率的な事業手法による行政運営

| 年度 | 取組項目 | 概要 |
|---------------------------|--|--|
| R4年度実績 | 10 業務の効率化等の推進 | 11 ○会計手続や人事手続等、内部手続に関する押印見直しに関する追跡調査を行い、各手続に係る押印見直しの取組を進めた。 |
| | 11 効率的な手法による財源の確保 | 12 ○「ふるさとプレミアム」、「ANAのふるさと納税」に掲載し、PRを強化したことで、寄附件数と寄附額の増加につながった。(寄附件数64,088件、寄附額992,320千円) |
| | | 13 ○大分川ダムななせ館跡地ほか3件を売却するとともに、54街区市有地ほか87件を有償で貸し付けた。(売却:121,835千円、貸付:117,907千円) |
| | 12 民間活力の積極的活用 | 14 ○PFI事業にて市内の小学校(49校)、中学校(26校)の普通教室に空調を設置したことで、年36,922千円のコストを削減した。また、金池小学校の施設整備をPFI事業にて実施したことで、年4,222千円のコストを削減した。 |
| 13 公営企業における健全な行財政運営の推進 | 15 ○下水道工事との発注調整会議を開催するなど、他の公共工事との発注調整を行い、同時施工による工事を39件発注し、効果額は123,943千円であった。 | |

5. 職員の意識改革と組織体制の強化

| 年度 | 取組項目 | 概要 |
|--------|-----------------------|--|
| R4年度実績 | 14 職員の能力向上と意識改革 | 16 ○大分市職員活躍推進プランに基づき、適材適所の人材登用を行うとともに、 <u>女性職員を積極的に登用し、女性職員の割合が課長級(参事級含む)20.2%、課長補佐級26.6%、係長級35.3%となった。</u> |
| | 15 組織体制の強化 | 17 ○新たな行政需要に迅速かつ的確に対応するため、「高崎山管理センター」、「交通政策室」を設置するなど、最適な組織体制の構築を図った。 |
| | 16 危機管理の強化と職員の資質向上 | 18 ○大分都市広域圏の構成市町から選出された若手職員16名(大分市職員2名)による政策研究チーム「第2期未来創造塾」において、学生の県内就職率の向上や婚活イベント等に関する調査・研究を行い、課題解決に向けた施策の提案を行った。 |

《令和4年度効果額》

(単位:千円)

| 令和4年度効果額 | うち累積効果分を除いた額 |
|-----------|--------------|
| 2,357,280 | 1,442,858 |

●令和4年度の主な効果額

ふるさと納税制度の活用 389,910千円、公有財産の有効活用 231,080千円(売却4件、有償貸付16件)

大分市行政改革推進プラン2018の総括

(単位:千円)

| 改善目標額 (H30~R4年度) | H30~4年度 効果額 | H30~R4年度 達成率 (H30~R4年度効果額/目標額) |
|---------------------|----------------|-----------------------------------|
| 7,500,000 | 10,050,679 | 134.0% |

大分市行政改革推進プラン2018の改善目標額75億円の達成に向けて、業務執行方式の見直しや自主財源の確保、事務事業の整理・合理化等の取組により、効果額の累計は約100億円となった。また、効果額に直接関連しない取組として、マイナンバーカードの普及促進や住民票等のコンビニ交付サービスなど、市民の視点に立ち、着実に推進することで、一定の成果を挙げることができた。